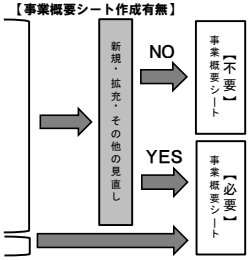
事務事業評価表

施策名	1902	景観の保全

【事業類型】

1　職員人件費のみの事業
2　国の法令に基づいて実施する事務（生活保護、賦課徴収事務、年金事務、戸籍・住基台帳事務、選挙事務、広域組合の負担金などの市の裁量が及ばない事務）
3　負担金のみの事業（イベント等の実行委員会への負担金を除く）
4　組織や職員を管理するための内部事務管理事務（財務事務、人事管理事務、企画事務、議会事務など）
5　施設の維持管理費のみの事業（光熱水費や法定の保守点検委託料など。施設の修繕料）
6　施設を維持管理するための運営業務（施設やそれに付随する車両等の運転業務委託、公園などの管理業務、清掃委託）
7　課内事務を行う上で必要となる事務的経費のみで構成される事業（条例委員の報酬、旅費、需要費、役務費のみで構成）
8　団体等への負担金及び補助金が予算の大半を占めるもの・・・補助金は、補助金要綱及び補助金等のあり方に関するガイドラインにおいて精査されている。
9　ハード事業で、中長期の年度計画（事業費含む）を策定し認められた事業
10　ハード事業1,000万円未満、ソフト事業100万未満（事業類型1～9以外）
11　ハード事業1,000万円以上、ソフト事業100万円以上（事業類型1～9以外）

【事業概要シート作成有無】



【事務事業評価の視点】

妥当性（市の関与）
　a…市が実施することが妥当である
　b…見直す余地がある
　c…市が実施する緊急性が認められない
有効性（施策貢献度）
　a…施策への貢献度が高い
　b…施策への貢献度が著しく高いとはいえない
　c…成果の向上が見込まれない
効率性（コスト）
　a…コストを見直す余地がない
　b…検討する余地がある

＜総合評価＞
　A…計画通りに事業を進めることが適当
　B…事業の進め方の改善検討
　C…事業規模・内容又は実施主体の見直しの検討
　D…事業の抜本的見直し、休・廃止の検討

事業費は当初・繰越・補正予算の合計額

NO	事業名	担当課 課長 担当者	事業内容	事業期間 開始	 終了	根拠法令 要綱等	事業類型	妥当性	有効性	効率性	総合評価	事業費（千円） R４ 決算	 R５ 予算	 R６ 見込	人件費（千円） R４ 決算	 R５ 予算	主な指標	単位	R４ 計画	 実績	R５ 計画	R６ 計画	事業の方向性	概要シート
1	屋外広告物関連事業	都市計画課 帯山　武敏 川竹　洋介	屋外広告物許可申請（継続・新規）の受付及び許可 既存未申請屋外広告物の許可基準等の啓発と許可申請提出の指導 違反広告物の指導及び除却	平成14年度		・屋外広告物法 ・大村市屋外広告物条例	2			b 余地あり	B 改善検討	3,218	3,223	3,553	9,814	9,497	申請啓発・指導による申請件数	件	40	41	40	40	現状維持	無
2	景観啓発推進事業	都市計画課 帯山　武敏 遠岳　裕樹	景観計画の運用及び周知 市民、事業者の景観まちづくり活動等への支援と顕彰 景観まちづくりの人材育成	平成22年度		・景観法 ・大村市景観条例	2			a 余地なし	A 事業推進	204	687	498	7,193	6,190	景観写真コンクールの応募件数	件	100	129	100	100	現状維持	無
3	景観資産整備助成事業	都市計画課 帯山　武敏 永田　毅郎	県の景観資産に登録された建造物の基準に基づき保全又は修繕する場合にその一部を助成するものである。 （負担割合：県1/3、市1/3、所有者1/3）	平成23年度		・長崎県美しい景観形成推進条例 ・大村市景観資産整備助成事業補助金交付要綱	8	a 妥当	b 貢献度低	a 余地なし	B 改善検討	0	0	0	1,091	727	整備助成件数	件	1	0	1	1	現状維持	無
4	街なみ環境整備事業(第2期事業)	都市計画課 帯山　武敏 永田　毅郎	○道路整備　周辺の石垣や建物と一体的な歴史的雰囲気を感じられる散策路の整備 ○公園等　散策者等が歴史的雰囲気を感じながら小休憩できるトイレ整備 ○修景施設整備助成	平成29年度	令和8年度	・大村市街なみ整備助成事業補助金交付要綱	9	a 妥当	a 貢献度高	a 余地なし	A 事業推進	32,581	36,900	38,400	3,809	4,736	整備事業進捗率	%	70.0	61.0	70.0	80.0	現状維持	無
5												0	0	0	0	0								
6												0	0	0	0	0								
7												0	0	0	0	0								
8												0	0	0	0	0								